

# 新型コロナに負けない!

## 1日も早く「当たり前前の生活」と笑顔を取り戻せる日を願う



四月職員会議は中止・辞令交付は個別に行う

# はんの木だより

2020年4月  
第77号

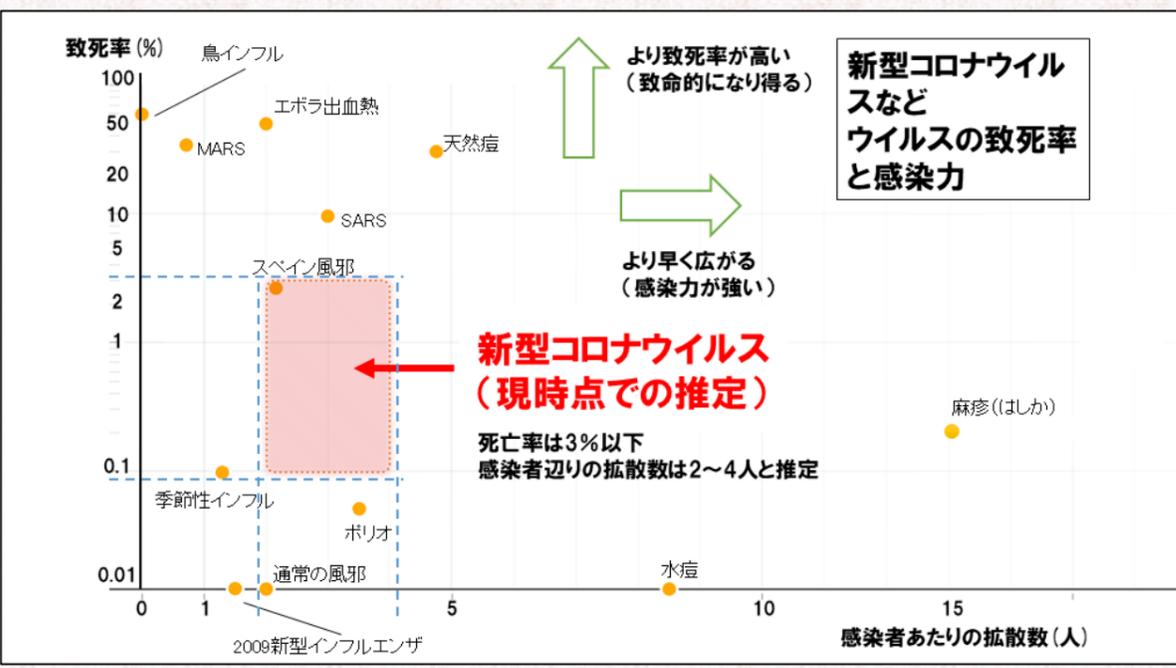
社会福祉法人美土里会  
青森県上北郡七戸町寒水 70-17  
電話 0176(62)2761  
http://midorikai-gr.or.jp

令和二年四月一日、新年度が始まりました。しかし今年度は、例年とは違い一箇所に集まったの辞令交付式・職員会議は見合わせました。その理由はもちろん、世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルス対策のためです。

この日は職員が一名ずつ理事長室を訪れ、盛田薫理事長から直接辞令を手渡されました。理事長から「今年もよろしく願います」と声をかけられると、職員は一様に気を引き締めたような面持ちに。そして辞令交付後は速やかに通常業務へと戻り、ご利用者のケアに汗を流していました。

例年であれば面会制限も解け、また暖かな春の日差しの中、花見や外食、買い物を楽しんでいた時期です。新型コロナウイルスの終息の目途は立っていませんが、私たちはご利用者の生活・笑顔・命を守ることを第一に「今が耐え時だ」と考えて一日も早い終息を願いつつ、ケアサービスの提供に努めたいと思います。

ご利用者・ご家族・身元引受人の皆様には大変ご迷惑をおかけしていますが、ご理解・ご協力のほど宜しくお願いいたします。



**新型コロナウイルスなどの致死率と感染力**

世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルス、同ウイルス性感染症(COVID-19)。ここで今一度新型コロナウイルスについてまとめてみました。ノーベル生理学・医学賞受賞者でもある京都大学の山中伸弥教授の情報発信ページから抜粋します。

**【病態】**

- ・ 国・地域により致死率は異なる(ドイツ: 〇・五%、韓国・クルーズ船・武漢以外の中国: 一・一~一・五%、日本: 二・二%、武漢: 四・五%、イタリア: 十%)
- ・ 感染後、症状が出るまでの潜伏期間は一日から十七日間とばらつきがある(平均は七日程度)
- ・ 感染しても症状が出ない場合がある
- ・ 感染しても検査で陰性となる場合がある

**【対策】**

- ・ 手洗いやマスクしていても感染することがある。
- ・ ワクチンはまだ開発されていない
- ・ 効果の証明された治療薬はない
- ・ 中山教授は、『ウイルスにも弱点があります。ウイルスは人の力を借りてのみ猛威を振ります。人が一致団結し、賢く行動すれば、ウイルスは勢いを失います。』と述べています。人がしっかりと知識を備え、適切な行動を続ければ感染拡大は防げるといふ事です。

多くの場合は発熱や咳などの軽症、高齢者や持病を持つ患者を中心に一部の患者では肺炎等で重症化、致死率も高い

**【感染】**

- ・ 感染力(基本生産数)はまだ確定していない
- ・ 咳等の飛沫とドアノブ等を介しての接触で感染する
- ・ 集団感染(クラスター)が世界各地で報告されている
- ・ クラスター以外(家庭内など)でも感染する
- ・ 症状がなくなると、他の人に感染させる場合がある。

不要不急の外出は控える  
人混みは避ける  
発症地域には行かない  
普段通りの衛生管理対策(手洗い・うがい・消毒・マスク着用等)を徹底する  
正しいコロナウイルス感染症の知識を得る(マスコミに踊らされない)  
 unnecessaryまでの買い込みや、マスク・消毒液等の独占はしない

私たちが見直すべきことがあるかも知れません。私たちが仕事をしなければ、高齢者の皆さんの生活を守れません。報道や断片的な情報に右往左往せず、冷静に情報収集し行動したいと思えます。一人ひとりが意識すれば、ウイルスと人とが共存する『終息』の時期を迎えるようになるでしょう。一刻も早くその時が訪れますように。

新型コロナウイルス感染症を「正しく恐れる」

二〇〇九年に猛威を振った新型インフルエンザ流行の時、ヒトは全く新しいDNAを持つウイルスに抵抗を持てなかつたため、あつという間に広がりました。WHOからパンデミック宣言が出され、感染者・死者が続出したのは記憶に新しいところだと思えます。しかし徐々に対策は進められて行き終息へと向かいました。そして二〇一一年以降、季節性インフルエンザと同様に扱われています。つまり、新型インフルエンザは撲滅されたのではなく人と共存するようになったと言えます。

もちろんコロナとインフルエンザは感染力も致死率も異なります。しかし、ウイルスの撲滅はほぼ不可能である以上、目指すべきは『共存』です。それには正しい情報を得て、一致団結して賢く行動することが第一でしょう。

職員コラム

森義子さん 特養介護職員



美土里荘に勤めて四年目です。職歴は縫製五年、学食三年程、障がい者施設四年。食肉のパック詰め、屋根の塗装塗り替えの手伝い、遺跡発掘とかいろいろ経験しています。結婚、出産、育児ライフスタイルに合わせて仕事を替えていました。子供に関する役員も保育園時には保護者会会計、会長を経て、小学校の母親委員長（小学校児童数が六十人程だったので、夫婦とも委員長になる年もありました）もやってきました。なにぶんトイところもあるので引き受けてしまうんですね。。。

趣味、特技はこれというものがありませんが、最近は姪っ子と一緒に漫画本にはまっています（月に三〇〇五〇冊くらい）。野菜・山菜が好きなので暇があれば収穫の手伝いに。食べる事も好きで、一人分作るよりみんな分作った方が美味しい事を小さい時から知っているのも今でもやめられません。世話好きなのではなく、自分がいろいろなもの美味しく食べたいから大量に作る事も…。こんな私ですが、今の生活に満足しています。

仕事、家族との時間、自分の時間をバランスよく保つことができ、世話になった地元の皆さんに寄り添いお手伝いできることにも幸せを感じています。（と、ちゃっかりとごまをすってごこう）

千葉靖子さん 特養介護職員



平成二十八年四月から、特養の介護職員をしています。介護の仕事に就いてからまだ八年程です。七戸生まれの七戸育ち、大学では工学部で情報システムを学び、三十代半ばで介護の仕事に出会うまでは、デスクワーク中心の仕事ばかりしてきました。結婚し出産育児を経験してから、親や自分の老後を考えるようになり、「介護」を意識し始め、思い切ったこの業界に飛び込みました。右も左も分らない状態からのスタートだったので大変でしたが、いろんな方たちのご縁にも恵まれ、現在に至ります。

この美土里荘で働き始めたのも何かのご縁。ご利用者やご家族が満足して頂ける支援・介護が提供できるよう努めていきたいと思っています。

お二人はなんと姉妹なんです！これからも介護現場の要として活躍して欲しいと思います。

デイサービスセンター様



二月、デイサービスのマイクロバスの新車がやって来ました。大きな美土里会マークが目印です。職員も利用者も楽しみにこの日を待っていました。このバスで皆さまのお迎えに上がりますが、「遠くへお出かけしたい」との声も多く挙がりました（コロナ騒動が落ち着いたらですね：コロナのバカヤロー！）。

デイサービスでは、毎日利用者様に楽しんでもらえるよう、沢山のレクリエーションを考案しています。その中で行っているレクリエーションの一つ、ご紹介します。

下の写真はスカットボールというゲームです。ボールをスティックで打ち、数字が書いてある穴に入れて得点を競います。皆さん「入らねえ」「あー惜しい！」など言いながら楽しんでいます。力加減が難しくなかなか入らないですが、ボールが入った時は大喜び！楽しむことはもちろん、集中力、視線、腕の力などを使うことを目的としたレクリエーションです。実はレクリエーションにはちゃんと目的があるんですよ。



グループホーム様

住み慣れた地域にある家庭的な雰囲気の中で共同生活を送るグループホーム。

ポカポカ陽気のこの日は、ご利用者同士で日向ぼっこをしながら女子会の様子：。どんなことを話されているのでしょうか。

またある日には、料理の下ごしらえのお手伝いをして頂きました。ネギを上手に切り、みそ汁に入れてみんなで美味しく頂きました。



特別養護老人ホーム美土里荘

一月十九日、大池町内会の皆様（獅子舞）を披露してくださいました。獅子が自分の所に寄り頭を噛んでいただくと、ビックリしたり、大笑いするなど様々な表情を見せていました。すっかり厄を払っていただき、手を合わせて今年一年の健康長寿を願った皆さんでした。



二月三日、豆まきを行いました。職員が扮した鬼めがけて、大きな声で「鬼は外、福は内」と新聞で作った玉をぶつけました。いつも見せない元気よさで鬼をぎゃふんと言わせて皆さん大笑い。豆まきの最後には鬼と一緒に記念撮影を行いました。その後は皆でクッキー作り。ご利用者各々好きな型を選び、上手にくりぬいていました。出来上がったクッキーは三時のおやつで皆さんに。自分たちで作ったのもあって「美味しい」と大好評でした。

編集後記

新年度が始まって早一ヶ月が経ちました。新型コロナウイルスの影響で子持ち職員は慌ただしい毎日です。さて六月一日は美土里会の開設記念日。設立から三十二年を迎えようとしています。三十二年：まだ生まれていない職員も多いのでは…。記念日には恒例の紅白饅頭を頂きながら（理事長お願いしますね）、法人理念である『忠恕―ちゅうじよ―：真心から相手を思いやる気持ち―』の意味をもう一度考え直したいと思えます（麻）

